

第2期北九州都市圏域連携中枢都市圏ビジョン 第3次改訂（案）について

本市と近隣17市町は連携中枢都市圏「北九州都市圏域」を形成し、令和3年8月からは「第2期北九州都市圏域連携中枢都市圏ビジョン（以下、「第2期都市圏ビジョン」という。）」に基づいた事業を推進している。

今回、最新の統計数値の反映や成果指標の更新、新たな連携事業の追加など、第2期都市圏ビジョン第3次改訂を行う。

記

- 1 連携中枢都市圏「北九州都市圏域」の概要（資料1）
- 2 主な改訂内容（資料2）
 - （1）統計数値等の反映
最新の統計数値、施設名称に変更
 - （2）成果指標の更新等
新型コロナウイルス感染症の影響により、
設定が困難であった目標値を設定
 - （3）連携事業の見直し（73事業→76事業※）
 - ・新規事業 4事業※
※うち1事業は、既存の事業を再構築したもの
- 3 第2期北九州都市圏域連携中枢都市圏ビジョン第3次改訂（案）（資料3）
- 4 今後のスケジュール
 - ・8月24日（木） 連携中枢都市圏「北九州都市圏域」トップ会議
 - ・8月中 第2期都市圏ビジョン 第3次改訂

I. 連携中枢都市圏構想について

1 | 連携中枢都市圏構想とは

地域において、相当の規模と中核性を備える圏域において市町村が連携し、コンパクト化とネットワーク化により、人口減少・少子高齢社会にあっても、活力ある社会経済を維持するための拠点を形成する政策。

2 | 連携中枢都市圏に求められるもの

- ① **圏域全体の経済成長のけん引**
- ② **高次の都市機能の集積・強化**
- ③ **圏域全体の生活関連機能サービスの向上**

3 | 全国の連携中枢都市圏の形成状況

令和5年4月1日現在 **40市（38圏域）** が連携中枢都市圏を形成

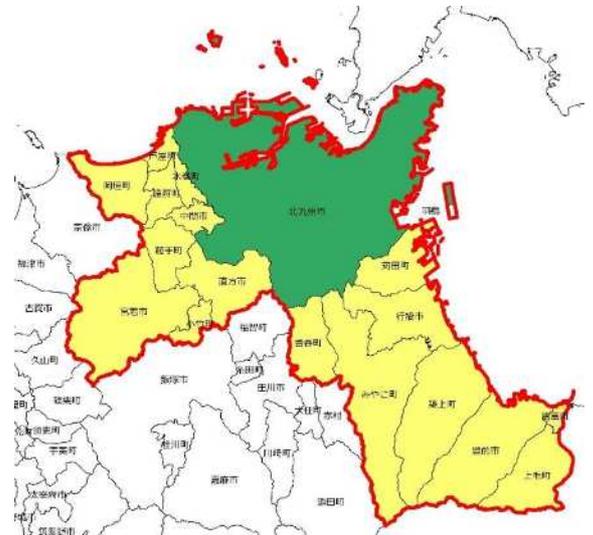
II. 北九州都市圏域について

1 | 北九州都市圏域の目的・形成

人口減少や少子高齢化が進む中でも、一定の人口を保ち、社会経済の活性化を目指すため平成28年4月、近隣16市町と「北九州都市圏域」を形成。令和3年5月に吉富町が加わり、現在は18市町で圏域を形成。

2 | 構成市町の名称（6市12町）・取組

北九州市、直方市、行橋市、豊前市、中間市、宮若市、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、香春町、苅田町、みやこ町、吉富町、上毛町、築上町



「北九州都市圏域連携中枢都市圏ビジョン」を策定
ビジョンに基づいた連携事業を推進
【現在第2期（令和3～7年度）】

中長期的な目標

SDGsを原動力に圏域人口の急速な減少抑制を目指す

圏域の目指す姿

迫り来る人口減少への対策として、圏域の市町が連携し、**「住みやすく、人を惹きつける圏域」**を目指す

連携中枢都市圏「北九州都市圏域」の概要

Ⅲ. 第2期都市圏ビジョンの体系図



76の連携事業を実施

第2期 北九州都市圏域連携中枢都市圏ビジョン 第3次改訂 (主な改訂内容)

1 統計数値等の反映

No.	ページ	目次項目	変更箇所	変更内容
1	2~3	II-1	(1)圏域市町の状況	文中及び表に最新の統計数値を反映
2	4~6	II-1	(3)「北九州都市圏域」の都道府県との比較	文中及び表に最新の統計数値を反映
3	7~11	II-2	2 都市機能の集積状況	最新 (R5.6月末時点) の名称に変更
4	20	III-2	(5)成果と課題 ②今後取り組む課題	新型コロナウイルス感染症が5類感染症になったことを追記

2 成果指標の更新等

No.	ページ	目次項目	変更箇所	変更内容
1	26	IV-5	5 圏域の成果指標	・「年間宿泊者数」「新幹線口エリアの集客数」の目標値を設定 ・従前の「現状値」を「当初値」とし、最新の数値を「現状値」とする。

3 連携事業の見直し

No.	ページ	目次項目	変更箇所及び事業名	変更内容
1	33 59	V-1 b V-3(1) g	【事業内容変更】 地域エネルギー政策の広域化	公共施設の再エネ100%電力化の導入市町数の変更
2	34	V-1 c	【効果】 北九州空港航空貨物拠点化推進事業	「北九州空港の貨物拠点化の推進」を「北九州空港の物流拠点化の推進」に変更
3	38	V-1 e	【事業内容】 加工食品海外販路開拓事業	「新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて開催を検討」を削除
4	39	V-1 e	【新規】 北九州空港新規路線就航促進事業	新規事業として追加
5	41	V-2 b	【費用負担（基本方針）】 下関北九州道路の整備促進	「北九州が負担する」を削除
6	42	V-2 d	【費用負担（基本方針）】 北九州空港の機能拡充・利用促進	北九州市及び連携市町の費用負担についての記載を追加
7	50	V-3 b	【事業内容・事業費】 北九州市科学館スペースLABO運営事業	【事業内容】R4の開館を反映 【事業費】R4事業費を変更
8	51	V-3(1) d	【事業内容】 北九州市平和のまちミュージアムを活用した 平和学習の推進	実施する取組の記載について変更
9	51	V-3(1) d	【新規】 北九州市立ひまわり中学校（夜間中学校）の周知	新規事業として追加
10	55	V-3(1) e	【新規】 IT学び直しプロジェクト	新規事業として追加
11	65	V-3(2) e	【新規】 巡る！学ぶ！描く！ 子どものための地域の魅力体感・発信事業	既存の枠組みを再構築し、新規事業として追加
12	71	V-3(3) c	【連携市町・効果】 不動産合同公売会	【連携市町】「全市町 ※北九州都市圏域市町内で、参加意向がある自治体のみ参加。」に変更 【効果】令和3年度、4年度の実績を追加

◆その他の見直し

○事業の文言や時点修正など軽微な修正